

ケアマネみやざき

一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.19
平成29年7月7日発行
発行責任者
担当理事 坂口 和幸

「会長挨拶」

平成29年1月10日現在の本協会会員は1433名であり、日本介護支援専門員協会における都道府県別会員数としては、全国6番目、平成28年度までの県内の合格者数は6394名であり、会員数を合格者数で割った組織率で見ますと22.4%となり、全国で断トツのトップということになります。また本日時点で1500人を越えた会員数となっており、調べた範囲内では県内の職能団体の中で2番目の会員数となります。皆さま方のご理解とご支援に改めて感謝申し上げます。

さて、介護保険制度の要として創設されたケアマネジャーの役割は社会環境や地域の変化を受けて大きく変わりつつあります。ケアマネジャーの受験者は減少傾向にあり、また離職や高齢化などケアマネがおかれている現状には、多くの課題があります。そのような変化の中、新カリキュラム下での法定研修が始まりましたが、多方面の皆さまのご協力のおかげをもちまして、他県と違って、滞ることなく順調に推移しております。法定研修以外にもこれまでにない新しい実用的な研修を提供させていただいております。また県から補助事業として良質で効果的なケアマネジメントを提供できるケアマネの育成のために昨年度までの3年間に居宅介護支援事業所の皆さまに対して巡回相談・助言指導を行い、スーパーバイズ機能を担う「ケアマネナビゲーター相談・助言事業」を行ったことで、ケアマネが抱える課題が明らかとなり、事業推進に大いに役立ちました。これからの3年間は他の職務との兼務が多いために専従のケアマネより負担が大きいことが懸念されている施設ケアマネの現状と役割を明確にし、適切なケアマネジメントが提供できるように487件の事業所を訪問させていただくことになりました。示された要綱の中で県は、「ケアマネは地域包括ケアの中核的コーディネーターの役割を担う」と明記しており、期待の高さが伺われます。

最後に私たちケアマネの地位が向上し、国が認めうる強い組織になるために皆さまにお願いがございます。冒頭にも触れましたが、本協会は他のどの都道府県にも勝る組織率を上げておりますが、今後は双方向性の連絡体制を強化することこそ、ケアマネの存在価値と社会的地位を高めることの大前提になると思います。今回、日本介護支援専門員協会の代議員選挙での、最終的な代議員選挙の投票率は宮崎県におきましても残念ながらかなり低率なものでした。これでは厚生労働省をはじめとした関係機関からの信用が全く得られるはずがございません。現場に必要なこと、現場が求めることを地域から吸い上げ、決して一方通行ではなく、皆様の声が国を動かす力となりますように、双方向の緊密で迅速な疎通が図れるシステムを確立し、県内1500名の会員の皆さま全員に時を移さず、速やかに伝わり、また全員から100%意見を回収でき、国の信用を獲得することが重要であります。ぜひとも皆さま方の最大のご協力をお願い申し上げます。

(平成29年6月4日開催 宮崎県介護支援専門員協会総会 会長挨拶より抜粋)



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷 義秀

平成29年度宮崎県介護支援専門員協会 総会 研修会報告

平成29年6月4日（日）にMR T m i c cダイヤモンドホールにて、平成29年度宮崎県介護支援専門員協会 総会、研修会が開催されました。

総会では、平成28年度事業報告と収支決算について協議され、会員の皆様の承認を得て、すべての議案が可決されたことをご報告いたします。

研修につきましては、下の欄で報告いたします。

ランチョンセミナー

鹿児島県奄美市のファミリークリニックネリヤ院長の徳田英弘先生をお招きし「ガンでも、認知症でも穏やかに、朗らかに、和やかに」と題してご講演いただきました。

先生は、患者さんもそのご家族もまたそこに関わる人たちすべてが、表情は穏やかに、暮らしは朗らかに、大切な人と和やかに過ごしていけるために何が必要なのかを、多くの事例などを通しそこでは、多職種連携のためのエチケットのご説明もあり、私たち介護支援専門員に多くの学びをあたえていただき、最後には参加者全員で『イエ～（家）』のポーズを決め、大変有意義なランチョンセミナーとなりました。



ファミリークリニックネリヤ 院長
徳田 英弘 先生

講演会

午後からは「ストレスマネジメントについて」と題し医療福祉コミュニケーションカレッジの佐久間由香先生によるご講演が行われました。

先生は、介護支援専門員の多忙な毎日からのストレスや様々な悩みを抱えている人達のモチベーションアップのためのヒントを沢山お話しいただきました。その一つとして、ノージャッジで相手の価値観やこうありたい未来の自分軸を引き出し、どんな些細な事でも良いので目標に近づくことが大事であり、また勇気づけのコミュニケーションを実践し、愛に満たされた日々を送ってほしいと笑顔いっぱいでご講演いただきました。



医療福祉コミュニケーションカレッジ
佐久間 由香 先生



今回の研修会すべてにおいて、エーザイ株式会社様に共催として多大なるご協力をいただき盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

県協会主催事業報告

～介護支援専門員の資質向上への取組み～

介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業への取組

平成29年5月31日（水） ケアマネナビゲーター選考委員会 ケアマネナビゲーター委嘱式
平成29年6月16日（金） 介護支援専門員ケアマネジメント向上支援事業 合同会議

地域包括ケアの中核的コーディネーターの役割を果たす介護支援専門員の質の向上と、ケアマネジメントの適正化を図り、要介護者等の自立支援及び住み慣れた地域での生活継続を促進する。この目的を達成するため、今年度から3年間かけて県内487事業所の施設介護支援専門員を中心にケアマネナビゲーターの訪問が開始されます。これに先立ち、ケアマネナビゲーター選考委員会が開催され11名のケアマネナビゲーターが決定し委嘱式が行われました。また、ケアマネナビゲーターとサポート委員と同行者による合同会議も行われ、そこでは事業目的をはじめ、各資料の記入の在り方・集計方法などの確認が行われました。この事業は、前回の居宅介護支援事業訪問と同様に会員・非会員に限らず、県内の介護支援専門員業務に従事する皆様のご協力を必要と致します。皆様のご協力よろしくお願い致します。



選考委員会

委嘱式

ナビゲーターの皆さん

合同会議

平成29年5月19日・31日・6月14日・22日の4日間

中堅介護支援専門員 事例検討会

平成29年5月26日 介護支援専門員 新任職員研修会

新任職員研修会では、介護支援専門員として業務にあたる際の要介護認定申請などの様々な手続きや重要事項説明や契約書の手続きなどの留意点など実務に直結した内容の研修会が行われ、皆さん真剣に学んでおられました。

中堅職員事例検討会では、実務経験1年以上5年未満の方々が、自身のケアマネジメントを振り返ると共に、他の参加者の事例検討を通してマネジメントプロセスの確認や新たな考えに気付く機会の場となりました。

この事例検討会は今年度から新たに開始された研修ですが、1年未満の方を対象とした事例検討会も10月頃に開催予定となっております。

会員の皆さんふるってご参加よろしくお願い致します。



平成29年5月15日（月） 介護支援専門員研修講師学習会

宮崎県介護支援専門員協会の講師及び研修企画や運営に携わる方を対象とした学習会が開催されました。

この学習会では事例検討会を通し、指導者・支援者としての役割について学び、地域での事例検討会を開催し、介護支援専門員の指導・支援が行える技術を習得することを目的とし、受講生の皆様が学びを深められていました。



介護支援専門員実務研修新カリキュラム 実習が新たに追加されました

平成28年度より介護支援専門員実務研修カリキュラムの変更に伴い、新たに実習が追加されました。今回、受講者と受入事業所担当者のお話を聞かせていただき、実地研修の良かった点、難しかった点をお伺いしました。良かった点では、机上では想像だけのプランになってしまうが、実際に利用者の生活に触れることで、より深い考えを持つことができた。介護支援専門員と一緒に行動することで、様々な知識が必要なことが分かったなどが挙げられ、難しかった点では、実習生に分かりやすく伝えることや、一連の流れを指導する時間配分などが難しかったなどの意見があげられていました。



県内支部化の動きが活発化しています(^o^)

平成29年7月現在、『延岡支部』『西臼杵支部』『美郷支部』『宮崎支部』『東諸県支部』『串間支部』『日南支部』『都城・北諸県支部』『えびの支部』『小林・高原支部』以上の10か所で支部が組織化されました。また組織化に向けた取り組みを行っている地域も増えています。

平成30年度の介護保険改正に向け、国では様々な議論が活発に行われております。宮崎県介護支援専門員協会は、それぞれの地域で活躍されている介護支援専門員お一人おひとりの声を集め、宮崎県全体が一つになり、国への確かな意見を伝えていくという大事な役割があります。その役割を遂行していくためには、組織強化は非常に重要です。

組織強化のために会員の皆様の、更なるご協力をよろしくお願い致します。

災害対策委員会が新たに設立！

南海トラフの大地震発生の危険はもとより、近年全国各地で様々な災害が発生しており、宮崎県においても不測の事態がいつ生じても不思議ではなくなっています。

我われ介護支援専門員は、災害発生時の混乱の中であっても、要援護者及び新たな要介護者への対応、加えて状態悪化の予防対策などの専門性を迅速かつ的確に発揮できる体制を構築しておく必要があります。そのためにも、平時からの意識づけや教育・広報活動を組織的に実施していくためこの度、宮崎県介護支援専門員協会に災害対策委員会が設立されました。

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成29年7月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク	正会員	準会員
宮崎・東諸県	657	12
小林・えびの・西諸	123	0
西都・児湯	108	0
日南・串間	150	1
都城・北諸県	217	3
日向・東臼杵	140	0
延岡・西臼杵	167	0
合計	1,562	16

会員数が1,500名を超え、全国で上位6番目の組織となりました。会員の皆様のお知り合い等で未加入の方がいらっしゃいましたら、入会を勧めていただきますよう、よろしくお願いいたします。